

## 春に産卵されたと思われる生物

### ■小型のエビジャコの仲間

今回の調査では、体長2cm程度のエビジャコの仲間を採集した(Fig.1)。大きな個体は見られず、採集した個体全てが同程度の大きさであった。これはこの春産卵された個体ではないかと思われる。5月に採集した大型の個体は抱卵していたが(レポートNo. 227参照)この時期に産卵されたと思われる。エビジャコの仲間の世代交代は順調に進んでいると思われる。

ガザミは甲幅3cm程度の個体を採集した(Fig.2)。ガザミも順調に成長していると思われる。



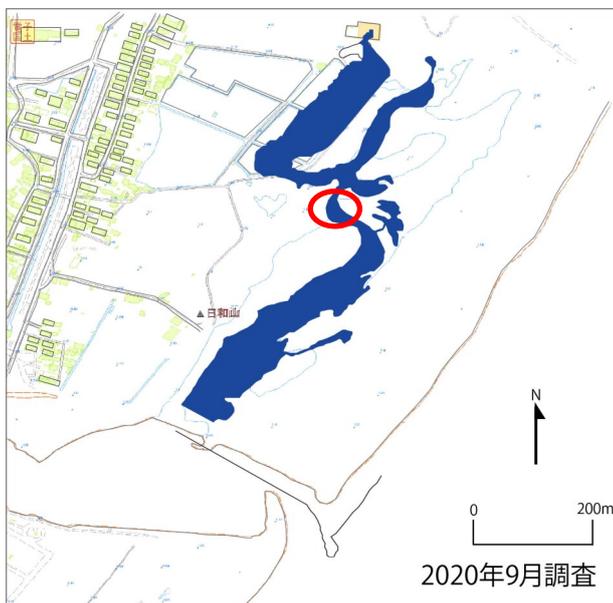
(Fig.1 エビジャコの仲間)



(Fig.2 ガザミ)

### ■多くのホソウミニナ

蒲生干潟北東部 (Fig.3 赤囲) で多くのホソウミニナを観察した(Fig.4)。40年以上前、私が子どもの頃の記憶であるが、このような巻貝が干潟いっぱいに見られた。現在は一部にしか見られないが、今後の回復を期待したい。



(Fig.3 ホソウミニナ観察場所)



(Fig.4 ホソウミニナ)